



県内経済の動き

概 況

〔2025年7月～2025年9月の動き〕

緩やかに回復している

鉱工業生産指数（7月）は2カ月ぶりに前月比上昇、通関輸出額（8月 細島港）は3カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（8月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（9月）は3カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（8月）は5カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（9月 保証対象請負総額）は4カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（8月）は前月比▲0.02ポイントの1.20倍で、9月の企業倒産は前月比3件減の3件、負債総額は同1億38百万円減の2億57百万円となった。

緩やかな回復が続く県内経済の先行きについては、物価高による消費者の節約志向の高まりや住宅投資の減少、企業のコスト負担増などが懸念材料となる。